

# 東京DMATカーの更新時の仕様変更について（案）

（東京DMAT企画・調整小委員会にて審議）

## 1 現状と方向性

（令和5年度の企画・調整小委員会及び運営協議会にて承認事項）

東京DMATカーは、東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模な地震災害等が発生した場合において、東京DMATが被災現場で迅速かつ確実に活動できるよう、平成23年度から2か年計画（23年度10台日産車、24年度15台トヨタ車）で全東京DMAT指定病院に配備されている。

走行距離が少なく、経年による故障は発生していないものの、財務省が定める法定耐用年数（5年）の倍以上の年数を超過しており、計画的に更新する必要がある。

従来からのコンセプトに加えて、都内における大規模な災害発生時等の観点からも仕様を検討し、車両ごとに走行距離などの面から判断し複数年で順次更新していく。

## 2 新たな東京DMATカーのコンセプト

### ○導入時からのコンセプト

大規模発生時、東京DMATの長時間に及ぶ現場活動を支えるための専用の多目的車両

①機動力向上 ②自己完結型の活動能力 ③通信手段の多重化

### ○新たなコンセプト

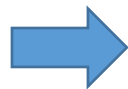
・防振架台付きのメインストレッチャー

都内における大規模な災害発生時にも機動的な運用のできる専用の多目的車両

⇒災害時における医療機関に対する支援活動の中で行う転院搬送と平時の病院業務としても患者の転院搬送に利用できるよう、防振架台付きのメインストレッチャーを設置する。

現状のDMATカー

2段ベッド型ベッド兼担架



今後の新たなDMATカー

2段ベッド型ベッド兼担架を廃止し、防振架台付きのメインストレッチャーの設置（※）

### ・衛星通信端末を配備

通信手段の多重化により災害時における通信手段を確実に確保するとともに、災害時においても大容量のデータ通信が可能となるよう衛星通信端末を配備する。

※電動ストレッチャーについては令和7年度に予算の範囲内で設置を検討する。

## 参考：これまでのDMATカーの仕様について①



正面



左側面

衛星アンテナとタープ



二段ベッド



タープ下部



情報パネル

### 主要搭載品

#### 情報通信

- ・衛星電話
- ・無線機  
(子機4台)
- ・パソコン
- ・FAX
- ・カーナビ
- ・テレビ

#### 野営器材

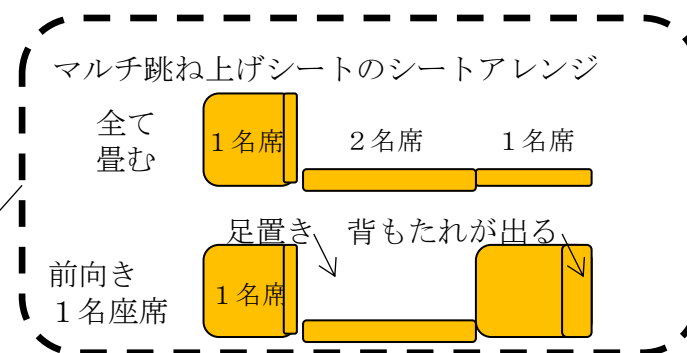
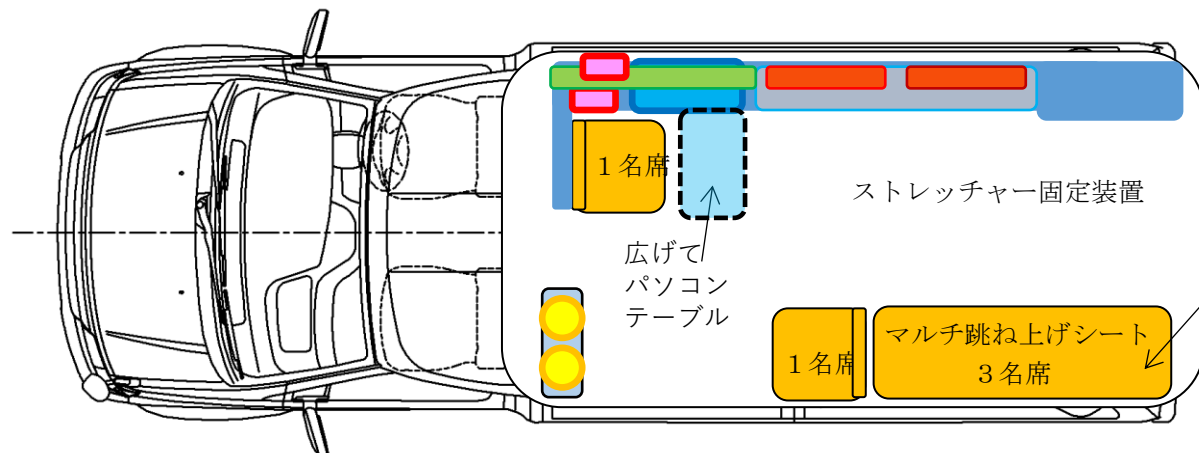
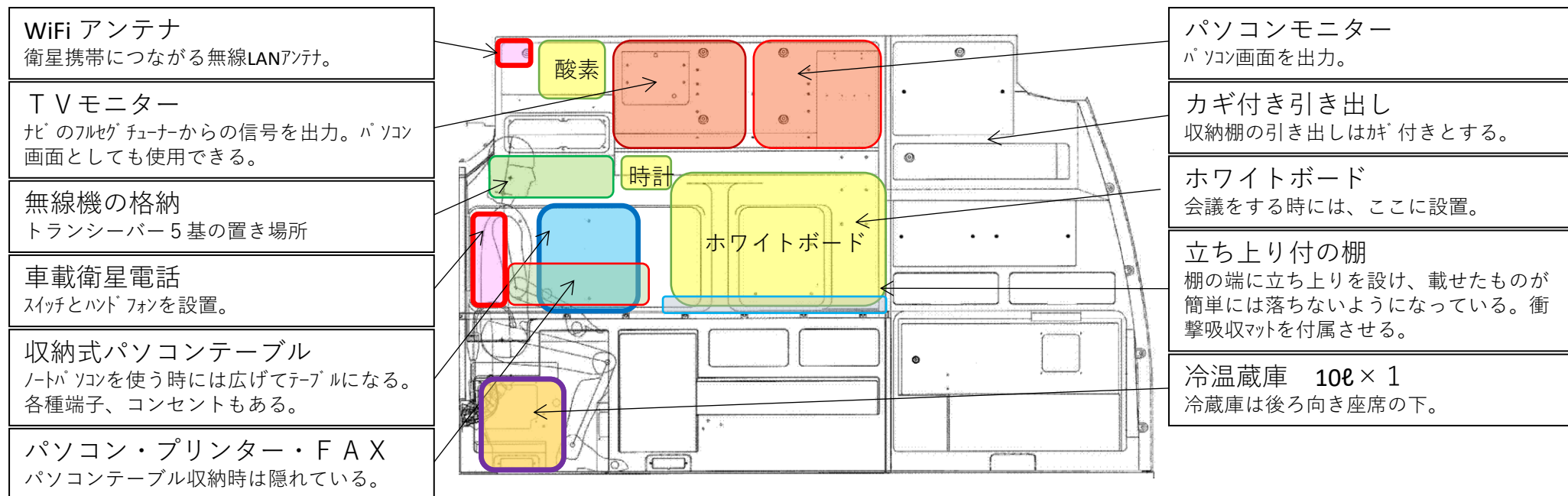
- ・寝袋
- ・テント
- ・コンロ
- ・食器類
- ・保存食
- ・飲料水
- ・簡易トイレ
- ・冷蔵庫
- ・発電機
- ・2段ベッド

医療器具  
DMAT標準資器材

## 参考：これまでのDMATカーの仕様について②

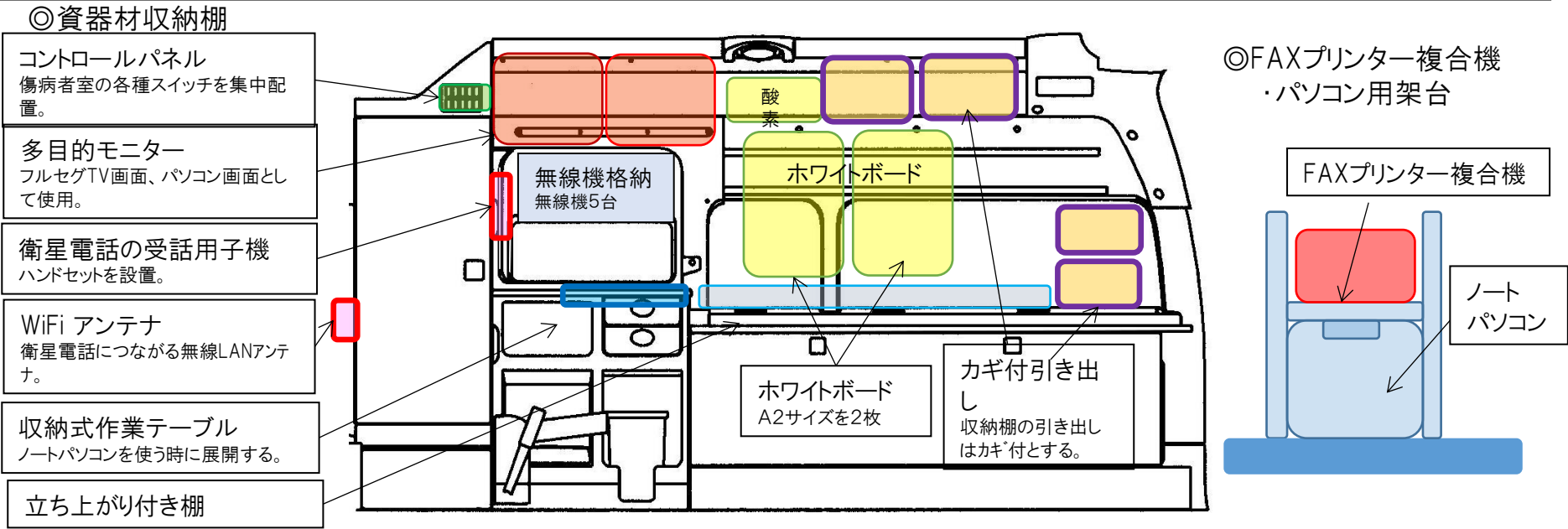
### 資材棚のレイアウト例

キャビンは右側が医療資器材収納棚（パソコンラック、TVモニター、パソコンモニター、衛星電話等を設置）  
左側に跳ね上げ式1名席とマルチ跳ね上げ式3名シートを設置して、車内レイアウトの自由度を確保。  
防振架台は設置しない。

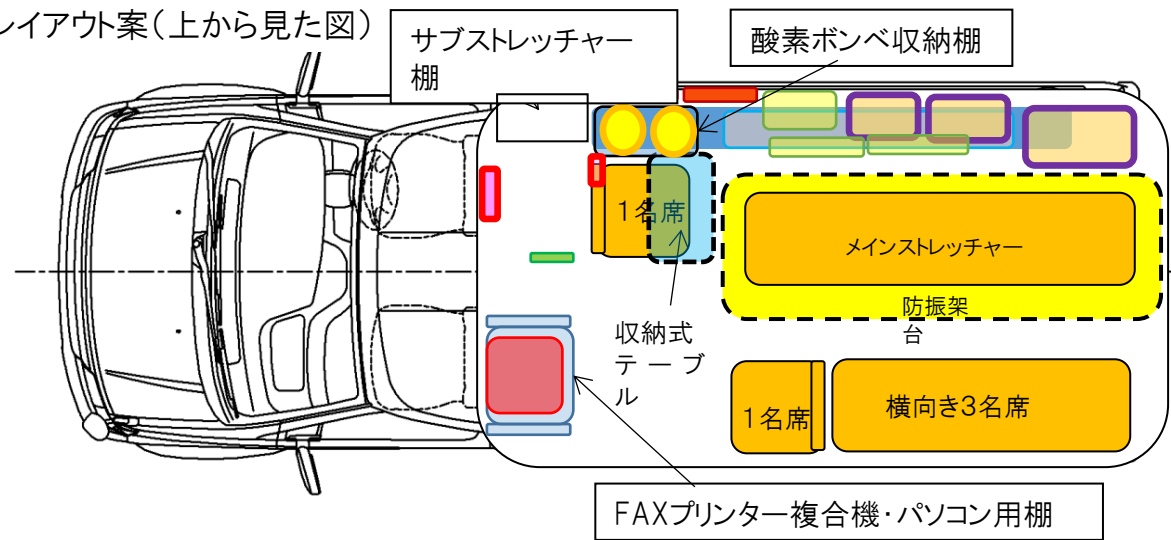




**取付け品取付け概要図**  
傷病者室は右側から資器材収納棚（収納式作業テーブル、多目的モニター2台、衛星電話の受話用子機などを含む）、左側にFAXプリンター複合機・パーソナルコンピュータ用架台、前向き1名席と横向き3名席を設置。



◎傷病者室レイアウト案（上から見た図）



◎横向き3名席のシートアレンジ

横向き座席を全て跳ね上げる事が出来る。

